

学習の成果発表

- ・巨大壁新聞の作成
- ・西区子ども環境活動発表会でのステージ発表（写真19）

西区子ども環境活動発表会での発表内容（一部抜粋）

**札幌市立西園小学校
4年総合
「中の川環境調査隊」
報告**

「知っているようで知らない川」

みんなの知っていることを集めてみたら・・・
西園小の校区を流れる川
西野川との合流地点が学校の近くにある
虫も植物もいろいろ
「サクラマス」が秋には見られる
などなど・・・

「環境調査隊」に任命されました!!



**調査その1
「川の水はきれいなのか?」**

水は透明
魚もいる
虫もいる

川の水はきれいなのか? どっちなのかな?!

中の川の水質は「きれいな水」でした!!



**調査その2
中の川には生き物がいるのか?!**



調査その3 中の川の環境

いろいろなごみが落ちていました。

①ライター
②おかしのおくるみ
③乗り捨てられた自転車
④タバコの吸い殻
⑤びん・缶・ペットボトル



調査その3 中の川の環境

ごみを分類してみました。



私たちの出した結論は・・・

**自然がいっぱいの中の川を
ずっと大切にしたいです。
もっとみんなに親しまれる
川になってほしいです。**

中の川の未来は・・・!!

自分たちが大人になっても、自然が残ってほしいです。
そのために、「川とともに生きる」ということをみんなで考えていく必要があります。

思いやりの気持ちをもって!!

●写真 19
西区子ども環境活動発表会で、学習成果を発表する児童



大学生提案プログラム1

「びっくり!川の裏の顔」

北海道教育大学岩見沢校4年
松下 葵・畑嶋 乃衣

プログラムのねらい

- ・たくさんの生き物がいてきれいな川だけど、怖い部分も持ち合わせているということを知る。
- ・自宅からのハザードマップを作り、台風などの被害に備えておく。

プログラムの流れ

- ①琴似発寒川がどこから来て、どこに流れて行くのかを調べる。
 - ・琴似発寒川が手稲山から流れ、新川を経て日本海にたどり着くことを知る。
 - ・新川が真っ直ぐな人工の川であることに気づく。
- ②琴似発寒川や新川の歴史について調べる。
 - ・琴似発寒川でも過去に水害があったことを知る。
 - ・水害から街を守るためにどんなことがされてきたかを知る。
- ③川はどうして氾濫するのか調べる。
 - ・琴似発寒川や新川も氾濫することがあるか調べる。
- ④ハザードマップを作る。
 - ・自分の家からの避難経路、場所を確認する。

- 参考資料
札幌市洪水ハザードマップ（図1）



図1・札幌市発行の札幌市洪水ハザードマップ[洪水避難地図]

大学生提案プログラム2

「川でつながるみんなの町」

酪農学園大学4年 片岡 美葉、北海道科学大学4年 小野寺 崇彬
光塩学園女子短期大学1年 伊藤 さとみ、北海道教育大学札幌校2年 大本 佳歩

プログラムのねらい

- ・身近な川の様子を知ると共に、上流や下流の他地域の川の様子も知る。

プログラムの流れ

- ①学校の近くの川に出掛け、次の調査を行う。
〈調査すること〉
生き物の種類、透明度、パックテスト（COD）、見た目、におい、音、水にさわった感じ。
- ②調査結果をもとに、そこに生息していそうな新たな生き物や生息している生き物にまつわる架空の物語を考える。
- ③上流や下流の他の小学校と、①の調査結果や②の新たな生き物のイラストや物語を交換する。
- ④自分たちが普段川の近くで楽しんでいる遊びの紹介や手紙も付け加えると流域の子ども同士で交流出来てよい。

（物語例）
ある日、ハナカジカのハナちゃんは、正義の味方のヤマメのママくんが人間に狙われているのを見つけた。ハナちゃんは、どうしようかと迷っていたが、勇気を出してママくんを川の底に来るように叫んだ。ハナちゃんはそのまま岩陰にママくんを隠して、人間が立ち去るのを待った。人間はヤマメを見失ったとまた歩いて行き、ママくんは助かった。ママくんはハナちゃんにお礼を言ってデートに誘う。ハナちゃんは川を泳ぐ楽しさを、ママくんは静かに川を見つめる楽しさを知ることができた。のちに2匹は結婚し、マナちゃんという子どもが生まれる。マナちゃんは、岩になりきったり、川をパトロールしたり、いろいろな生活の仕方ができるようになる。そのおかげでマナちゃんは、川の底でひっそり暮らす魚を見落とさずにパトロールできる川のヒーローになりました。